

《教育長メッセージ 第 60 号》



『苺』

海老名市は、イチゴの生産が神奈川県で一番です。

日本全国、さまざまな有名なイチゴの産地がありますが、海老名のイチゴが一番おいしいと、私は思っています。

ゴールデンウィーク頃までは、市の南部の有馬地区でイチゴ狩りができますので、ぜひ、海老名を訪れていただき、味わってほしいものです。

また、毎年、12月頃から、有馬地区のイチゴロードで、農家の方々が直接販売していますので、食べていただきたいと思います。

私は、教員の頃、有馬小学校に8年、有馬中学校に2年7カ月、勤務しました。

そのため、私的に有馬地区への思い入れがあります。

私の有馬小学校への希望の理由は、「海老名で一番、富士山が美しく見える学校」でした。そして、宮城県生まれの田舎者の私には、畑や田園風景が緑の中に広がる有馬地区が、心穏やかに過ごせる、懐かしく感じる所だったのでした。

それでは、苺のエピソードをふたつ。

退職前に勤めた有馬中学校のPTA会長さんがイチゴ農家の方でした。さまざまな栽培の工夫をされ、イチゴの品評会で優秀な成績をおさめられる方でした。

イチゴがたくさん取れる時期に、出荷が間に合わなくなると、職員室にイチゴを届けていただきました。放課後、教職員でおいしく味わいました。また、何段にもイチゴの苗が植えられた鉢が重なった鉢植えを学校に持って来てくださり、熟れる前から生徒たちが勝手に自分のイチゴと決めつけて食べていました。

今年から、市の農家支援の施策もあり、栽培のIT化に取り組み、さらにおいしいイチゴができたとのことでした。

先日、有馬小学校で担任した教え子が奥さんと三人の子どもを連れ、教育委員会にイチゴを持ってきてくれました。

彼は、数年前に農家に転身しました。

そして、彼の渾身の作品を持ってきてくれたのです。

そのイチゴは、赤々と一粒一粒が大きく見事で、甘く、一瞬にして部屋中をイチゴの香りでいっぱいにする作品でした。

目が潤む味でした。

みなさん、海老名に来て、苺と富士山を楽しんでください。

次回は、「子どもの安全」について、私の考えを述べてみたいと思います。